

# 議会だより

2016年

平成28年 8月

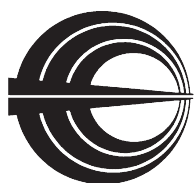
No.188



## カニ歩き競争

7月2～3日、毛がにまつりが開催されました。2日はあいにくの雨で行事が中止となってしまいましたが、晴天が広がった3日はたくさんの来場者でにぎわい、子ども達がカニのかぶり物を着けて走る「カニ歩き競争」も行われました。

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 第2回定例会のあらまし              | 2P   |
| 議会改革等に関する<br>調査特別委員会中間報告 | 3P   |
| 町政を問う 5議員が登壇             |      |
| 一般質問                     | 4～9P |
| 議会議員研修会、議員の出席簿           | 10P  |
| 委員会活動                    | 11P  |
| 議会のうごき                   | 12P  |



おしゃまんべ



平成28年

第2回

# 定例会

## 規約

- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
- 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

## 補正予算

- 平成28年度一般会計補正予算（第3号）

## その他

- 専決処分の承認（平成28年度一般会計補正予算第2号、平成28年度国民健康保険特別会計補正予算第1号）
  - 財産の取得
  - 議員の派遣承認
  - 所管事務調査及び閉会中の継続調査
- ※詳しい議案の内容は、7月号町広報に掲載されております。

平成28年第2回定例会は、6月16日から21日までの6日間の会期で開かれました。

【6月16日】

本幡町長から行政報告が行われ、その後、規約の変更や補正予算などの審議をしました。

【6月21日】

一般質問に5人の議員が登壇し、町政に対しての所信を質しました。

慎重に審議した結果、本定例会に提案された議案すべてを原案のとおり可決し、閉会しました。



## 所管事務調査

（委員会が受け持っている調査内容）

第3回定例会（9月）までの各常任委員会、議会運営委員会の所管事務等の調査事項を次のとおり決めました。

《総務常任委員会》

- ・衛生処理対策
- ・公共下水道事業
- ・町税収納対策
- ・病院事業

《産業建設常任委員会》

- ・商工観光振興
- ・水産振興

《議会運営委員会》

- ・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

# 議会改革等に関する調査特別委員会中間報告書

平成27年第2回長万部町議会定例会において、本特別委員会に付託された「議会改革等に関する調査」について、下記のとおり中間報告する。

## 記

### 1. 特別委員会設置の背景及び目的

地方分権の推進に伴い、これまで長万部町議会においても開かれた議会をめざし、議会の活性化・効率化など、議会の自己改革に努めてきた。

議会は住民の代表機関であり、多様な住民意思の反映や議員の専門性向上の必要性を踏まえ、議会の組織、運営等のあり方など、議会としての機能を十分発揮できるよう引き続き議会改革を推進するため、平成27年6月に議会改革等に関する調査特別委員会を設置した。

### 2. 特別委員会の活動経過（平成27年6月から平成28年3月まで）

特別委員会 計10回開催

### 3. 協議した議会改革等の内容 ※(1)～(9)の内容は、紙面の都合上省略しています。

- (1) 議会開催周知の充実について
- (2) 会議録のホームページ掲載について
- (3) 議員活動の公表について
- (4) 各種通知の迅速化について
- (5) 議案の提出要件及び修正動議の発議要件について
- (6) 意見書の取り扱いについて
- (7) 議会報告会及び一般会議について
- (8) 議会付議事件の概要の報告について
- (9) 議事日程について
- (10) 会派制度について

会派制度については、会派とは何か、会派の長所・短所、道内町村議会での会派設置状況、会派制度を廃止した事例などの調査・研究を行い、検討を重ねた結果、会派控室の壁を取り払い議員控室を一つとするところから始め、平成28年4月1日の会派解消を目指し、会派制度を残しながらも会派が無いものとして、議会運営を行うことを確認した。

約6ヶ月間の試行期間を経た平成28年第1回町議会定例会終了時点で会派制度廃止の賛否を問い、議員定数も減少の一途をたどり、地方分権が進む中、議員同士の活発な議論を通じて議会の政策能力を高め、議会の審議と議決をより権威あるものにし、議会全体として町民の負託に応えるべきとの認識のもと、全会一致で会派制度を廃止することとした。

### 4. 特別委員会の今後の取り組み

今回は、特別委員会の設置目的の一つである議会の組織、運営等のあり方などにおける根本的、かつ重要課題である会派制度について結論を見出すことができたことから中間報告を行ったが、引き続き、議会の組織、運営等のあり方は勿論のこと、開かれた議会をめざし更なる改革に取り組んで参りたい。



## 5人の議員より一般質問が行われました。 その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

町ホームページトップ → 町議会 → 会議録



村川 毅 議員

### 食育推進計画の作成について

#### 今日の議論を通じて 今後庁内で検討する

村川 国は、食育に関する施策を総合的かつ計画的に進めるため、平成17年6月に「食育基本法」を策定、北海道では平成26年3月に「ごさんこ食育推進プラン」を作成し、道内の食育を総合的に進めることとしている。計画を作成した市町村は、国の助成を受けて事業の実施もできる。

町においても国や道と連携しながら、町民の理解のもと役割分担を行い、より効果的な食育の取り組みを推進するため「長万部町食育推進計画」を作成すべきと思うが、町長の所見を伺う。

町長 食育の推進は、保健・産業・教育・環境

など幅広い分野にわたり、地域性も高いことから、これらの各分野を総合した町の推進計画は必要と考えている。

食と密接な関わりがある健康と併せ、平成29年度末策定予定の「長万部町健康づくり計画（仮称）」に食育推進計画を盛り込んで策定する。

村川 健康づくり計画ももちろん大事だが、そもそも健康づくり計画は主に生活習慣病予防の計画で、食育計画は地産地消と一体となった食育の推進を含む計画である。町の第3次総合計画でも、安全・安心で信頼される食料の供給と、食育や地産地消などによる地

域農業、農産物への理解が不可欠であり、地域のブランド化を推進する必要があると謳っている。

食生活に関しては、世代に関係なく安全・安心でより安価なものを多くの人が望んでいる。当町でも、長年畑作組合が開催している土曜市、これもみな期待して楽しみにしているものだが、この地場産品を、価格面の折り合いがつかないのか知らないが、学校給食や東京理科大学の給食などではなかなか口にする事が出来ない状況にあると思う。だから、食育計画の中できちんと産業団体や生産者の方を含んだ協議会を作り、町の地場産品をはじめ町で加工された食品を口に出来る体制を整備する必要があるから食育基本計画はやはり必要だと思うが。

副町長 食育推進基本計画は作らないというこ



あつまんべの土曜市

とではなく、健康増進法に基づく、健康づくり計画の1パーツとして作るということである。食と健康づくりは非常に密接な関係にあり、きちんと連携した計画を作る。

村川 せっかく道から農政出身の参事が見えているのだから、食育計画の中心になってもらい、地域おこし協力隊員とも連携しながら、安全・安心な食生活を目指す計画を作っていたきたい。

町長 今日の議論を通じて、今後庁内でどういう計画にするか検討する。

# 制服費と介護用品購入にかかる 支払い制度について

業者と調整し  
委任払方式(※)導入に向け検討する



柏倉恵里子議員



補助対象となる  
シルバーカー

への支払いが滞るケースがあつたため、平成24年度から支払後の補助金申請とい

**柏倉** 現在、長万部町では、長万部高校に入学する保護者に対し、制服の購入費の一部を補助しており、保護者からは大変喜ばれているが、先に全額支払う償還払方式(※)のため苦慮されているようだ。はじめから、その分を差し引いた委任払方式(※)に変えるべきだ。

また、介護に関する分野になるが、自立生活支援用具の購入や住宅改修にかかる費用についても、おもに償還払方式になっている。利用者は、助成金額受領の口座番号などを書かなければならず、また、いつ受け取れるのかと不安に思っている。

利用者の負担感をやわらげるためにも、委任払方式が主になるよう制度の変更をするべきと思うが、町長の所信を伺う。

**町長** 長万部高等学校制服購入費補助については、制服購入費補助に関する条例施行規則第3条により、補助金交付申請書に「領収書の写し」を添付することとされており、保護者等が制服購入代金を支払った後に申請していた、だき補助金を交付している。

この補助制度は、平成23年度から実施しており、「納品書又は領収書の写し」の添付により申請を受け付け補助金を交付していたが、補助金は受け取ったが業者

う形に変更した。

長万部高等学校存続のため、この補助制度は今後も継続実施していく。

委任払方式への制度変更は、業者との調整が必要となるので検討する。

自立生活支援用具の購入や住宅改修に掛かる費用について、現在は基本的に償還払いで助成しているが、利用者の利便性等を考慮し、販売業者・工事業者と協議を行い、委任払方式導入に向け検討する。

**柏倉** 制服補助金が戻るのは5月10日となつていますが、保護者が一番お金が必要なのは4月である。町民からも切実な話を伺った。もう一度答弁を。

**町長** 委任払方式を選択するためにはどういう障害弊害があるのかをしっかりと聞き取り、来年の3月に向けて努力したい。

**柏倉** 自立生活支援用

具についても、利用者が補助申請に役場へ来るのは仕方ないが、現状では助成金受取りのため、金融機関へ出向かなければならない。しかも、介護認定を受けている方々なので大変である。委任払いなら、本人負担分を業者に支払うだけでいいし、助成金がいつ戻るのかと不安に思う事もなくなるのでは。

**町長** 住宅改修となると様々な事がでてくる。設計分の補助経費も違ってくるということもあるので、多岐にわたつてかなり慎重に方式を考えなければならぬ。早めに委任払方式が取れるよう前向きに検討する。

※委任払方式  
自己負担分だけを支払う方式

※償還払方式  
一度全額を支払ひし、後で補助分が戻る方式

# 本町におけるU・イターン希望者に対する

## 求職支援について

### 町ホームページの利用等関連機関と

#### 協議し対応を進める



北川 佳嗣 議員

業として、U・イターン希望者を役場職員として採用、また、地元事業者等と連携してマッチングを積極的に行うシステムを完備してはと思うが、町長の所信を伺う。

町長 2030年には

北川 我が国において、将来的な人口の減少は切実な社会問題であり、とりわけ地方の小さな自治体にとっては、喫緊の課題として対応していかねければならず、本町においても例外ではない。

長万部町創生総合戦略の中で「長万部町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、人口減少対策事業を推進しているが、即効性のある求職支援事

将来の定住を見据えた様々な就業支援を展開していく考えである。

また、全国のU・イターン希望者に町内の求人情報を効果的に発信するため、町ホームページに町内企業のバナー広告を掲載し、求人情報ヘリンクできるような仕組みづくりの検討を進める。

北川 親と一緒に暮らし最期を看取りたいと思いつながらも、仕事の関係で諦めている本町出身者は少なからずいると思う。

この方々に帰ってきてもらえれば、人口減少の抑制効果以外にも、老人福祉の観点や、空き家対策にも資する一石二鳥三鳥の効果を得られるのでは。

ある。

町のホームページにバナー広告を掲載することによって、その企業の紹介や工場の作業内容を動画で発信する事も協議している。町の広報に載せている広告は有料なので、バナー広告も有料とするが、今後、より良いホームページにリニューアルし、企業とのマッチングも含め、U・イターン希望者に活用してもらえよう努力する。

北川 2016年度版の地方創生基本方針が閣議決定され、より拡大・充実した地方創生メニュー

が提供されているようである。このメニューの中に本町のU・イターン支援に関わる有益な支援策が盛り込まれているかもしれない。内容がますます複雑多岐になってきており、コンシェルジュの利用や情報面の支援策である地域経済分析システ



△等の活用は検討されているか。

まちづくり新幹線課長 新型

交付金の制度も2016年度は国の方で示されているが、ハードルが非常に上がってきており、なかなか厳しい状況にある。

今後、それらの条件に合致したものについて検討を進める。

## 避難道山頂付近の環境整備や 冬期間の除雪対策について

### 対策を充実させるよう 検討・協議を進める



スキー場横の避難道

ての位置づけから、有蓋施設の整備予定はない。

高台への避難後は、理科大等の避難所へ移動していただく。

冬期間の避難路確保は大きな課題であるが、避難階段については設置箇所がスキー場の一部であることから、冬期間の除雪は行っていない。

今後、避難訓練等での啓発を図りながら、地域連携を強め災害に強いまちづくりを進める。

北川 昨年、津波対策として通称坊主山に避難道が整備されたが、災害はいっ起こるかわからない。冬期間の除雪対策や山頂付近の環境整備、有蓋の避難所の確保等はどういうになっているのか対応を伺う。

町長 昨年度整備した避難階段の山頂付近の環境整備は、定期的な草刈りを実施し、旧苗畑方面への避難も可能となっているが、一時避難所とし

北川 旧苗畑方面への避難も可能とのことだが、夏場の天気の良い日中であれば問題ないが、夜間や風雨の強い日、降雪時など何時間も山頂にとどまれない場合は、安全な避難所まで移動が必要である。町道南部陣屋線までの間の未舗装路の除雪体制はどうなっているか。

町長 山頂付近に飲料

水の水源があり、そこまでは常時排雪を行っている。そこから山頂までの除雪は今後やろうと思う。常に冬場の排雪は、南部陣屋線を含めて重要なポイントにするべく、協議を進めている。

北川 南部陣屋線までの未舗装路には標識等の設置が整っていないが、設置の予定は。

町長 避難指定箇所や避難路の看板については、今年度予算措置されており、順次対応している。避難方向の矢印看板についても検討する。

北川 避難場所として、東京理科大学との間に災害時協力体制の協定が結ばれているが、南部陣屋線にはアールシーシーサンコーやイーグルロボの工場が建設されており、これらの事業所との協定締結の予定は。

町長 東京理科大学、富野の会館が近くにあり、

飯生神社とも協定の方向で検討している。

各事業所は夜間施錠しており、警備等がいなければ入れないが、必要性があればお願いせざるをえない。今後の検討課題である。

北川 スキー場管理業務を高齢者事業団へ委託しているが、避難階段の除雪も含めて委託をする予定は。

町長 委託するという考えはない。

北川 避難階段は、上半分は左手が土手になっていて安全であるが、下半分は左側が沢になっていて危険なので、防護柵や手摺りがあれば安全性が高まると思うが、これらの設置の計画は。

町長 防護柵の設置を検討はしているが、とりあえず現状で使用していただく。

# 人口減少問題に対する施策は

## 1人でも多く長万部町へ 来てもらうよう施策を講じる



大谷 敏弥 議員

**大谷** この町村も、人口減少の危機に面している。若者世代が安定した職を得られなければ家庭を築くこともできず、未婚化による更なる少子化から、将来的に町を支える人が少なくなること懸念される。

町からの流出を防ぐと他町村ではいろいろな施策を掲げているが、長万部町としての施策は、

1、雇用状況は。  
2、保育や住宅建設の補助。  
3、企業誘致は。  
以上、3点について町長の所信を伺う。

**町長** 1、長万部町創生総合戦略に基づき、理科大との連携事業なども含め、雇用創出や移住定住の促進に向けた取組を進めているが、ハローワーク八雲によると、長万部町内の正社員の求人は現在16事業所ほどで、有効求人倍率は平成28年3月時点で1・41と比較的高く、町内企業は人手不足の状況である。現在、それら企業に対する支援策の一つとして、求人情報を効果的に周知できる

よう、町ホームページに求人情報をリンクさせる仕組みを検討している。

2、第2子以降の保育料を今年度から無料とした。また、

子育て支援センターでは、親子遊び場の提供や子育て相談、サークルの応援などを行っており、中学生までの医療費無料化や学童保育の実施など、子育て世帯への支援充実に努めている。

住宅補助については、今後、他自治体の事例を参考に検討する。

3、北海道新幹線札幌延伸工事の本格化に伴い、関係する工事事務所や寮の建設が予定されており、本町への経済効果が期待されている。また、人材が集まりさえすれば工場を増設する意向の企業もあることから、町内企業への支援や移住定住施策を進め、補助制度の情報

発信も強化し、引き続き企業誘致と雇用の拡大に取り組む。

**大谷** 保育料の毎月の負担は大変である。将来世代の子供の負担を軽減するため、さらなる減免を。財源はふるさと納税で補填しては。大変難題だとは思いますが、近い将来、高校生までの医療費無料化も目指しては。

このようなことで若者の負担を少なくし、子育てをしながら生活ができる状況を作っていく。保育や住宅施設の補助等で、定住化や少子化、人口減への対策にもつながると思うが。

**町長** 保育料のさらなる軽減や住宅建築補助については、財政の検証をしながら進める。

**大谷** 町民にも企業の内容や情報を発信していく。また、企業にとってやりやすい環境作りを地域の人々と協力し、企業



保育所の子どもたち

や人を呼び込む仕掛けをしていくことで交流人口が増え雇用も生まれ、それによりU・イターンにもつながるのでは。早めの対策を検討してほしい。

**町長** 速やかに検討し、進めている。企業とマッチングしながらいきたい。

雇用条件については、1・41倍の求人率があるが働く人がおらず、企業が困っている状況である。地元に残らないことが今は心配の種である。1人でも多く長万部町に来ていただけるような施策を講じたい。



# 防災行政無線の整備について

## コミュニティ放送局 開局に向け努力



辻 紀樹 議員

辻 近年、地震による災害だけではなく、温暖化の影響により、局地的な集中豪雨による洪水や土砂崩れ、また、河川の氾濫など多種多様な災害が発生している。

これら災害から町民を守るためには、災害の規模、災害現場の位置や状況を把握し、いち早く正確な災害情報を地域住民に伝達し、安全な地域への避難誘導が必要となる。伝達方法として、各町村が防災行政無線を採用しているが、整備費用が数億円と高額なため、本町ではFM電波の利用も検討しているとのことだが今後の取組みは。

町長 災害発生時の避難勧告など、町民の生命と財産を守るためには、いち早く正確な情報を伝達することが重要であり、その手段として多くの自治体で防災行政無線の整備が進められているが、

整備には多額の費用を要することから、コミュニティ放送を利用した災害情報の伝達を行う自治体が増えている。

コミュニティ放送は、FMラジオにより地域の話題や行政・観光・交通など、きめ細かな情報を配信するものであるが、災害時には番組に割り込んで避難情報を流すことが可能である。

災害情報の伝達手段確保は、本町にとっても喫緊の課題であることから、近隣自治体の導入事例を参考にしながら、本町に適したシステムの早期整備に向け、可能な限り迅速に進める。

辻 現在の進捗状況は。

町長 東京理科大学と長万部町の連携事業として、コミュニティ放送施設の設置について話が進んでおり、エソール会館を使わせて頂ける予定である。また、函館の「F

Mいるか」が開局まで協力して頂けることになり、平成29年度後半開局を目途に努力したいと考えている。

辻 FM電波を利用となると、おそらく蔵岱や茶屋川方面は難聴エリアとなり、アンテナが必要になるのでは。このようなメリット・デメリットがかなり出てくだろうから、早めに検討していたきたい。今日も函館で地震があった。一番命が大事なので、行政としてどちらを選択するか別にしても、29年と言わず早めの取組をお願いしたい。

町長 5月16日川汲で地震が発生し、今日夜半にもまた震度4の地震が



吹鳴装置

## 意見書を提出しました

意見書2件を原案どおり可決し、関係機関へ送付しました。

◇道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

◇地方財政の充実・強化を求める意見書



発生した。  
FM電波に難聴エリアが発生することは想定しており、それらも含めこれから協議をし、開局に向け努力していきたい。

# 議会議員研修会

7月5日、札幌市において北海道町村議会議員研修会が開催され、「ひとを動かし、まちを動かす」と題して立正大学客員教授の高野誠鮮氏より、また、「日本の行方～政局・政治展望」と題して東京新聞・中日新聞論説副主幹の長谷川幸洋氏より講演を受けました。



翌6日は、苫小牧市にある㈱Jファームでスマートアグリ生産プラント施設の視察研修を行いました。

この施設は、スマートアグリシステムを採用した植物工場で、ベビーリーフやトマト等を栽培しています。スマートアグリシステムとは、農業の生産性を高めるための技術で、ハウス内の温度や湿度、日射量、肥料などを植物の生育に適した環境にIT技術で管理・維持する最先端の栽培方法です。

## ● 議員の出席簿 ●

平成28年4月～平成28年6月

| 会 議 名                              | 開催日   | 1  | 2  | 3    | 4  | 5  | 6  | 7  | 8 | 9  | 10   |
|------------------------------------|-------|----|----|------|----|----|----|----|---|----|------|
|                                    |       | 北川 | 長崎 | 辻(紀) | 高森 | 橋本 | 大谷 | 村川 | 角 | 柏倉 | 辻(義) |
| 第 2 回 定 例 会                        | 6月16日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
|                                    | 6月21日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
| 議 会 運 営 委 員 会                      | 4月25日 | —  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | —  | ○ | ○  | ○    |
|                                    | 6月13日 | —  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | —  | ○ | ○  | ○    |
|                                    | 6月21日 | —  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | —  | ○ | ○  | ○    |
| 全 員 協 議 会                          | 4月25日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
|                                    | 5月26日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ○  | ○    |
|                                    | 6月13日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
|                                    | 6月16日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
| 総 務 常 任 委 員 会                      | 5月26日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | —  | —  | — | ○  | ○    |
|                                    | 6月13日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | —  | —  | — | ○  | ○    |
| 産 業 建 設 常 任 委 員 会                  | 6月10日 | —  | —  | —    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
| 議 会 広 報 編 集<br>特 別 委 員 会           | 4月15日 | —  | —  | ○    | ○  | —  | —  | ○  | ○ | —  | ○    |
|                                    | 6月21日 | —  | —  | ○    | ○  | —  | —  | ○  | ○ | —  | —    |
| 議 会 改 革 等 に 関 す る<br>調 査 特 別 委 員 会 | 4月28日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |
|                                    | 5月26日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ○  | ○    |
|                                    | 6月16日 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○  | ○    |

○ (出席)

× (欠席)

— (出席対象外)

# 委員会活動

## 産業建設常任委員会

6月10日

- ①農業振興  
公共牧場入牧状況について現地調査
- ②土木事業  
冬期雇用対策事業について現地調査



- ③所管事務調査  
第3回定例会までの所管事務調査を協議

## 総務常任委員会

5月26日

- ①公共施設等管理運営  
公共施設白書について調査

6月13日

- ①病院事業  
入院患者数、診療収入額について調査
- ②学校運営  
学校運営協議会制度導入促進事業について調査
- ③所管事務調査  
第3回定例会までの所管事務調査を協議

## 議会運営委員会

4月25日

- ①第2回臨時会の運営について協議

6月13日

- ①第2回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取り扱い、第3回定例会までの所管事務調査を協議、議会会派に関する内規の廃止、議会運営委員会規程の廃止、特別委員会の運営に関する内規の廃止、議会の運営に関する基準の一部改正、議会議員派遣実施要綱の一部改正について審査

6月21日

- ①第2回臨時会の運営について協議

## 議会改革等に関する調査特別委員会

4月28日

- ①議会改革等に関する調査  
議会改革等に関する調査特別委員会中間報告(案)について協議

5月26日

- ①議会改革等に関する調査  
常任委員会、議会運営委員会の設置状況について調査

6月16日

- ①議会改革等に関する調査  
常任委員会、議会運営委員会の定数等について協議

## 議会広報編集特別委員会

6月21日

- ①議会だより第188号の編集について協議

7月15日

- ①議会だより第188号を編集





# 議会のうごき

## 4月

- 1日 長万部町辞令交付式 議長
- 6日 長万部小学校入学式 各議員
- 長万部中学校入学式 各議員
- 8日 長万部高等学校入学式 各議員
- 10日 東京理科大学入寮式、全学懇親会 議長
- 20日 北海道新幹線試乗会 (新函館北斗～新青森) 副議長
- 28日 第2回臨時会 全議員
- 29日 緑と樹を愛する会植樹祭 副議長

## 5月

- 19日 長万部商工会通常総代会 議長
- 20日 戦没者慰霊祭 議長
- 21日 東京理科大学基礎工学部創設30年記念式典(東京) 議長
- 24日 渡島総合開発期成会定期総会 (函館市) 議長
- 長万部観光協会通常総会 議長
- 27日 高齢者事業団定期総会 議長
- 30～31日 議長・副議長研修会 (東京都) 副議長

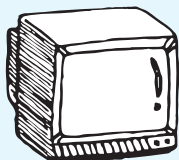
- 31日 長万部温泉利用協同組合通常総会 議長

## 6月

- 3日 原水爆禁止国民平和実行会 議長
- 9日 北海道町村議会議長会定期総会及び渡島町村議会議長会臨時総会 (札幌市) 議長
- 10日 緑と樹を愛する会総会 議長、副議長
- 16日 第2回定例会 全議員
- 17日 長万部町自衛隊父兄協力会定期総会 議長
- 21日 第2回定例会 全議員
- 24日 北渡島檜山4町議会連携協議会設立準備会役員会(八雲町) 長崎議員、村川議員
- 28日 渡島総合開発期成会札幌要望 議長

## 議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、臨時会の模様を放映しています。



## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月です



この広報紙は再生紙を使っています。

## お願い

議長宛ての案内などの文書は、議会事務局へ送付ください。

委員会も署名するだけで傍聴することができます



今年も飯生神社例大祭の季節となりました。このおまつりの

歴史をたどると、安永2年以来243年にわたり行われている由緒あるおまつりです。今年は毛がまつりで終わる予定だった花火大会が雨で延期になったため、10日に神社から花火を打ち上げる予定です。

昨年の町議選挙から1年以上が経ち、新人だった議員も議会に慣れ、活発な議論をしております。

十数年後の新幹線の開通をにらみ、委員会や議会でも色々な意見や質問が飛び交っております。

飯生神社のおまつりが300年、400年と続いていくためにも、今後のまちづくりを必ず成功に導かなければなりません。

議会広報編集特別委員会

委員長

高森 功治

副委員長

村川 紀樹

角 健